
果てしない夢の中で

月宮 恋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

果てしない夢の中で

【コード】

N3890Q

【作者名】

月宮 恋

【あらすじ】

死んだ恋人の墓の前で眠る、少年。

夢の中で見るものは

短編です。

「…ねえ。君は今、何を見てるの？」

それは、答えの帰らない問いかけ。

愛しい人の墓石を、しっとりと濡らしていく水滴。
なだらかな丘の上にある、小さな墓地。

静寂の中に、僕の呟きは溶け込んでいく。

「私は、いつだってちいくんのことだけを見つめてるよ？」

どれほどの時間が過ぎ去っただろう。

不意に、背後から愛しい人の声が聞こえる。

…もう君は、遠くへ行ってしまったはずなのに。
それなのに、どうしてここにいるの？

「君は、だれ？」

僕は、振り向かないままに問いかける。

「私だよ、ちいくん」

後ろから、抱きついてくる温もり。

背中越しに伝わる鼓動に、吸い込まれていく。

「本当に、君なの…？」

僕に、会いに来てくれたの？

「本当に、私だよ」

それは、聞き慣れた笑い声。
くすくすと、笑いながらの言葉。

「やっと、会えたね」

喜びのあまり、言葉が自然に溢れる。

「久しぶり、ちいくん」

優しく、それでいて弾むような声色。

…ああ、君も喜んでくれているんだね。

「…愛してる」

思わず口から零れ出した、小さな小さな呟き。

「私も、愛してる」

答えるように、首筋に堕ちる口付け。

その感触はとても柔らかくて、僕はそつと瞳を閉じた。

「…は、ど…?」

そして、再び開いた瞳に映る光景。

いつの間にか、辺りは闇に包まれていた。

果てしなく、真つ暗な世界。

さっきまで座っていたはずの地面さえ、どこかに消えている。

「ここは、ちいくんの夢の中だよ」

そっと、耳許で囁かれる言葉。

今は自らの身体さえも消えて、意識だけが虚空に浮遊し続ける。

「夢の中…?」

僕は、気付かないうちに眠っていたのだろうか。

「そうだよ。どうしても会いたかったから、会いに来たの」

ここが夢の中だと、認識したせいだろう。

空間が、少しずつ崩れていく。

大きな揺らぎの中。

背中から、愛しい人が僕の中へと入ってくる。

…もう二度と、離ればなれになりませんように。

何もない世界への祈り。

「僕も、会いたかったよ」

「ずっと待っていてくれて、ありがとう。これからは、ずっと一緒だよ」

ゆっくりと、溶け合っていく身体。

一つになる快樂に、意識が薄れていく。

果てしない闇の底へと、堕ちていく自我。

「ずっと、君と一緒にいられるの…?」

「もちろん!」

嬉しそうな声。

それが、僕が聞いた最後の言葉だった。

気がつくとき、僕は墓石の前で座っていた。
まるで、何も無かったかのように。
けれど、今はこの胸の中に愛しい人がいてくれる。

「会いに来てくれて、ありがとう」

その場で、語りかけた言葉。
もう、涙は止まっている。
何故なら、やっと君と会えたから。

「これからはずっと一緒だよ、ちいくん」

それは、誰にも届くことのない囁き。
愛しい人の声が、また聞こえた気がした。

(後書き)

お粗末様でした。

こんな短い小説を書いたのは、初めてです。

一体、皆様にどんな評価を受けるのでしょうか。

感想がいただけたら、嬉しいです。

ぜひとも、よろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3890q/>

果てしない夢の中で

2011年1月28日02時25分発行